

# 楽しいな!! 子ども会



▶ジュニアリーダー養成研修会での1コマ

「子ども会」をご存知ですか？

名前を聞いたことはあるけれど、どんな会なのかわからないという方も多いのではないのでしょうか。

今日は、さまざまな活動を行っている「子ども会」をご紹介します。

## 子ども会ってどんな会？

子ども会は、主に町内会などの単位で組織され、地域に住む幼児から高校生までの子どもたちが加入しています。

通常の学校生活では、同じ学年の子どもと友だちになったり、遊んだりすることはできますが、異なる年齢で交流する機会は少ないものです。

子ども会では、年少の子どもたちは、先輩の「お兄ちゃん・お姉ちゃん」を見習い、年長の子どもたちは、後輩の「弟・妹」の手助けをしながら活動しています。

そして、家庭や学校での日常生活では体験することのできない、さまざまな集団活動を通じて、社会性や自主性など、成長していく過程で必要なことを学んでいます。

また、子ども会には、活動に直接かわり指導や助言をする、育成者と呼ばれる大人が加入しているほか、町内会や青少年育成委員会、学校、PTAなど地域の大人たちからも、精神的、物質的に支えられて活動しています。

◀「遊び」は、子ども会の重要な要素です。



## 活動内容は？

キャンプやスポーツ大会、クリスマス会やゲーム大会、公園清掃といった、さまざまな遊びや季節の行事、ボランティア活動などが中心です。

活動内容は、子どもたちみんなで話し合い、計画を立てて決定します。このような集団で行う活動の企画・準備・実施・反省という体験を通して、仲間と生きる心、ルールを守り協調する心、人を思いやる心、創造する心、ボランティアの心をはぐくんできていきます。そして、子どもたちの意見をとりまとめて、中心的な役割を果たしていくのが、ジュニアリーダーです。

## 子ども会リーダー 養成研修

ジュニアリーダーになれるのは、それぞれの子ども会から推薦された、小学5年生以上の子どもたちです。リーダーは、遊びの知識ばかりではなく、集団で活動するうえでの知識や技術、子どもたちをまとめていくリーダーシップが求められます。

高校2年生までの7年間、年に数回開催されるキャンプやボランティア活動などの研修に参加して、これらの知識や技術を身に付けていきます。

## 子ども会リーダー 養成研修体系

